

### 3.1.7 職種との関係

アンケートの回答の職種をグループ分けし、血液中ダイオキシン類濃度を比較した。「専門・技術」、「保安」、「運輸・通信」及び「生産工程・労務」からなるグループ1、「事務」、「サービス」、「管理」及び「販売」からなるグループ2、「農業」のグループ3、「漁業」のグループ4、「無職（学生・専業主婦を含む）」のグループ5の5つに分けた。なお「分類不能の職業」についてはグループに入れていない。

年齢調整値では、職業による血中ダイオキシン類濃度の差は認められなかった。

表 3.1.20 職種別の血液中ダイオキシン類濃度

単位：pg-TEQ/g-fat

	グループ1 (n=37)	グループ2 (n=78)	グループ3 (n=18)	グループ4 (n=8)	グループ5 (n=32)	検定
平均年齢	44.9歳	42.0歳	53.5歳	50.1歳	53.9歳	
PCDDs+PCDFs						
平均値	8.4	8.6	12	10	14	*
標準偏差	5.8	5.9	6.3	7.3	8.2	
中央値	6.3	7.4	12	7.5	16	
範囲	2.6~27	1.3~37	2.1~26	3.2~23	3.0~33	
Co-PCBs						
平均値	6.3	6.7	11	8.6	10	
標準偏差	4.8	4.6	8.5	6.5	7.0	
中央値	4.9	5.5	8.4	5.8	11	
範囲	0.78~21	0.46~22	0.40~37	2.8~20	0.42~26	
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs						
平均値	15	15	23	19	25	*
標準偏差	10	9.8	14	14	14	
中央値	12	13	21	13	25	
範囲	4.8~45	2.2~50	2.5~59	6.7~43	3.4~54	

検定：クラスカル・ウォリス検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

表 3.1.21 職種別の血液中ダイオキシン類濃度（年齢調整値）

単位：pg-TEQ/g-fat

	グループ1 (n=37)	グループ2 (n=78)	グループ3 (n=18)	グループ4 (n=8)	グループ5 (n=32)	検定
PCDDs+PCDFs						
平均値	7.4	8.4	8.4	7.7	10	
標準偏差	3.3	4.2	3.4	3.9	5.1	
中央値	7.0	7.6	7.8	6.8	9.0	
範囲	3.6~15	0.91~29	3.4~15	3.0~14	2.5~22	
Co-PCBs						
平均値	5.5	6.8	6.2	5.5	5.8	
標準偏差	3.6	4.0	3.9	2.1	2.9	
中央値	4.6	6.1	5.0	4.8	5.7	
範囲	1.4~20	0.62~18	1.1~14	3.3~8.7	0.38~15	
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs						
平均値	13	15	15	13	16	
標準偏差	6.3	7.3	6.9	5.6	7.7	
中央値	11	14	14	12	16	
範囲	5.2~36	2.5~38	5.2~28	6.3~22	3.2~37	

検定：クラスカル・ウォリス検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

表 3.1.22 血液中ダイオキシン類濃度の職種別多重比較

	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4	グループ 5	有意差が出た職種
PCDDs+PCDFs	6.3 2.6~27	7.4 1.3~37	12 2.1~26	7.5 3.2~23	16 3.0~33	グループ 1×グループ 5 (*) グループ 2×グループ 5 (*)
Co-PCBs	4.9 0.78~21	5.5 0.46~22	8.4 0.40~37	5.8 2.8~20	11 0.42~26	有意差なし
PCDDs+PCDFs+ Co-PCBs	12 4.8~45	13 2.2~50	21 2.5~59	13 6.7~43	25 3.4~54	グループ 1×グループ 5 (*) グループ 2×グループ 5 (*)
PCDDs+PCDFs (年齢調整値)	7.0 3.6~15	7.6 0.91~29	7.8 3.4~15	6.8 3.0~14	9.0 2.5~22	有意差なし
Co-PCBs (年齢調整値)	4.6 1.4~20	6.1 0.62~18	5.0 1.1~14	4.8 3.3~8.7	5.7 0.38~15	有意差なし
PCDDs+PCDFs+ Co-PCBs (年齢調整値)	11 5.2~36	14 2.5~38	14 5.2~28	12 6.3~22	16 3.2~37	有意差なし

検定：ステイール・ドゥワス（全群比較）  
 グループ 1：専門・技術、保安、運輸・通信  
 グループ 2：事務、サービス、管理及び販売  
 グループ 3：農業  
 グループ 4：漁業  
 グループ 5：無職（学生・専業主婦を含む）  
 検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

### 3.1.8 喫煙との関係

喫煙習慣別の血液中ダイオキシン類濃度の統計値を、表 3.1.23及び表 3.1.24に示す。アンケートでは、喫煙習慣について、「習慣的喫煙はない」、「現在喫煙している」及び「過去は喫煙していたが現在はやめている」の3択になっている。

有意差は認められ、「現在喫煙している」対象者の血液中ダイオキシン類濃度が低かった。

表 3.1.23 喫煙習慣別の血液中ダイオキシン類濃度

単位：pg-TEQ/g-fat

	習慣的喫煙はない (n=128)	現在喫煙している (n=27)	過去は喫煙していた が現在はやめている (n=23)	検定
平均年齢	47.0歳	41.7歳	47.7歳	
PCDDs+PCDFs				
平均値	11	5.9	8.7	**
標準偏差	7.3	3.9	3.9	
中央値	9.4	4.3	9.0	
範囲	1.4~37	0.98~19	3.6~17	
Co-PCBs				
平均値	8.4	4.5	7.3	**
標準偏差	6.2	4.2	4.8	
中央値	6.8	3.2	5.7	
範囲	0.40~37	0.13~21	1.4~18	
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs				
平均値	19	10	16	**
標準偏差	13	7.6	8.4	
中央値	17	8.9	14	
範囲	2.5~59	1.1~39	5~35	

検定：クラスカル・ワーリス検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

表 3.1.24 喫煙習慣別の血液中ダイオキシン類濃度（年齢調整値）

単位：pg-TEQ/g-fat

	習慣的喫煙はない (n=128)	現在喫煙している (n=27)	過去は喫煙していた が現在はやめている (n=23)	検定
PCDDs+PCDFs				
平均値	8.9	6.4	7.6	**
標準偏差	4.4	4.1	2.6	
中央値	8.4	4.9	7.4	
範囲	1.7~29	0.81~15	2.5~13	
Co-PCBs				
平均値	6.3	5.3	6.0	*
標準偏差	3.2	5.1	4.1	
中央値	5.9	3.9	5.2	
範囲	0.65~18	0.096~20	1.4~17	
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs				
平均値	15	12	14	**
標準偏差	6.7	9.0	6.3	
中央値	14	9.2	12	
範囲	3.1~38	0.9~36	3.9~29	

検定：クラスカル・ワーリス検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

### 3.2 食事中ダイオキシン類測定結果

#### 3.2.1 平均値及び濃度範囲等

食事中ダイオキシン類濃度（食事試料 1g あたりの濃度）を地域・地区別に表 3.2.1～3.2.2 に示す。

表 3.2.1 食事中ダイオキシン類濃度結果（地域別：WHO-TEF2006）

単位：pg-TEQ/g

	北海道東北 (n=10)	関東甲信越 (n=10)	東海北陸近畿 (n=10)	中国四国 (n=10)	九州沖縄 (n=10)	全国 (n=50)
<b>PCDDs+PCDFs</b>						
平均値	0.0061	0.0039	0.016	0.0061	0.0049	0.0074
標準偏差	0.0036	0.0019	0.023	0.0020	0.0034	0.011
中央値	0.0057	0.0037	0.0062	0.0066	0.0047	0.0054
範囲	0.0023～0.015	0.0010～0.0067	0.0020～0.074	0.0034～0.0084	0.0012～0.011	0.0010～0.074
<b>Co-PCBs</b>						
平均値	0.012	0.0054	0.029	0.025	0.0053	0.015
標準偏差	0.022	0.0033	0.045	0.051	0.0047	0.032
中央値	0.0041	0.0051	0.0044	0.0094	0.0041	0.0050
範囲	0.00082～0.073	0.00095～0.012	0.0013～0.13	0.0026～0.17	0.00070～0.014	0.00074～0.17
<b>PCDDs+PCDFs +Co-PCBs</b>						
平均値	0.018	0.0094	0.045	0.016	0.010	0.020
標準偏差	0.025	0.0050	0.068	0.0066	0.0076	0.034
中央値	0.010	0.010	0.010	0.017	0.0084	0.011
範囲	0.0033～0.088	0.0019～0.019	0.0032～0.21	0.0060～0.025	0.0020～0.024	0.0019～0.21

表 3.2.2 食事中ダイオキシン類濃度測定結果（地区別：WHO-TEF 2006）

単位：pg-TEQ/g

	都市地区 (n=25)	農村地区 (n=5)	漁村地区 (n=20)	全国 (n=50)
<b>PCDDs+PCDFs</b>				
平均値	0.0054	0.0024	0.011	0.0074
標準偏差	0.0025	0.0010	0.017	0.011
中央値	0.0052	0.0028	0.0059	0.0054
範囲	0.002～0.011	0.0010～0.0034	0.0012～0.074	0.0010～0.074
<b>Co-PCBs</b>				
平均値	0.0062	0.0035	0.029	0.015
標準偏差	0.0046	0.0029	0.048	0.032
中央値	0.0051	0.0023	0.0079	0.0050
範囲	0.00082～0.017	0.00095～0.0083	0.00074～0.17	0.00074～0.17
<b>PCDDs+PCDFs +Co-PCBs</b>				
平均値	0.012	0.0060	0.033	0.020
標準偏差	0.0066	0.0039	0.051	0.034
中央値	0.011	0.0051	0.015	0.011
範囲	0.0032～0.024	0.0019～0.012	0.0020～0.21	0.0019～0.21

### 3.2.2 食事経由のダイオキシン類摂取量

食事中ダイオキシン類濃度の結果を基に、食事経由の一日体重一キログラムあたりのダイオキシン類摂取量を推計した。推計方法は、原則として、以下の計算式により、個人ごとに摂取量を算出した。

$$\text{食事経由の摂取量 (pg-TEQ/kg/日)} = \frac{\text{食事中ダイオキシン類濃度 (pg-TEQ/g)} \times \text{1日あたりの食事の摂取量 (g/日)}{\text{調査対象者の体重 (kg)}}$$

食事経由のダイオキシン類摂取量を地域別に表 3.2.3 (地域別)、表 3.2.4 (地区別) に、ヒストグラムを図 3.2.1、図 3.2.2及び図 3.2.3に示す。ダイオキシン類の耐容一日摂取量 (TDI) である 4pg-TEQ/kg 体重/日を超過した対象者は 2 名 (いずれも東海北陸近畿ブロック 漁村地区) であった。

表 3.2.3 食事経由のダイオキシン類摂取量結果 (地域別：WHO-TEF 2006)

単位：pg-TEQ/kg 体重/日

	北海道東北 (n=10)	関東甲信越 (n=10)	東海北陸近畿 (n=10)	中国四国 (n=10)	九州沖縄 (n=10)	全国 (n=50)
<b>PCDDs+PCDFs</b>						
平均值	0.25	0.15	0.63	0.26	0.22	0.30
標準偏差	0.16	0.066	0.72	0.12	0.16	0.37
中央値	0.22	0.15	0.29	0.25	0.20	0.20
範囲	0.038~0.57	0.055~0.28	0.061~2.2	0.13~0.52	0.057~0.55	0.038~2.2
<b>Co-PCBs</b>						
平均值	0.47	0.21	1.1	0.42	0.23	0.48
標準偏差	0.81	0.14	1.5	0.31	0.19	0.81
中央値	0.19	0.17	0.20	0.37	0.21	0.21
範囲	0.017~2.7	0.052~0.5	0.039~4.0	0.13~1.1	0.038~0.68	0.017~4.0
<b>PCDDs+PCDFs +Co-PCBs</b>						
平均值	0.72	0.36	1.7	0.68	0.45	0.79
標準偏差	0.96	0.19	2.2	0.41	0.32	1.2
中央値	0.43	0.36	0.49	0.60	0.40	0.43
範囲	0.055~3.3	0.11~0.78	0.10~6.2	0.28~1.6	0.095~0.97	0.055~6.2

表 3.2.4 食事経由のダイオキシン類摂取量結果 (地区別：WHO-TEF 2006)

単位：pg-TEQ/kg 体重/日

	都市地区 (n=25)	農村地区 (n=5)	漁村地区 (n=20)	全国 (n=50)
<b>PCDDs+PCDFs</b>				
平均值	0.22	0.11	0.45	0.30
標準偏差	0.12	0.049	0.54	0.37
中央値	0.20	0.13	0.24	0.20
範囲	0.038~0.55	0.055~0.15	0.057~2.2	0.038~2.2
<b>Co-PCBs</b>				
平均值	0.26	0.15	0.85	0.48
標準偏差	0.20	0.12	1.2	0.81
中央値	0.21	0.12	0.30	0.21
範囲	0.017~0.75	0.052~0.36	0.038~4.0	0.017~4.0
<b>PCDDs+PCDFs +Co-PCBs</b>				
平均值	0.48	0.26	1.3	0.79
標準偏差	0.29	0.16	1.7	1.2
中央値	0.42	0.27	0.55	0.43
範囲	0.055~1.2	0.11~0.50	0.095~6.2	0.055~6.2

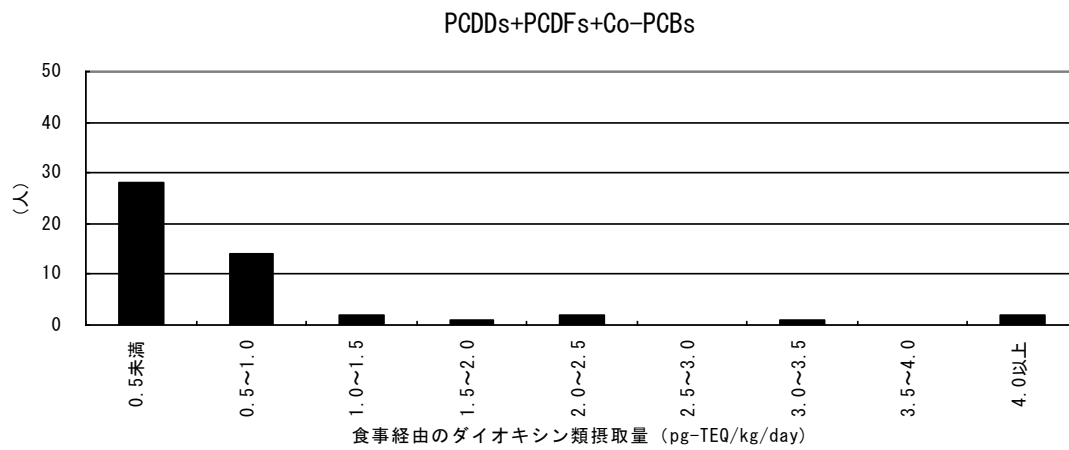
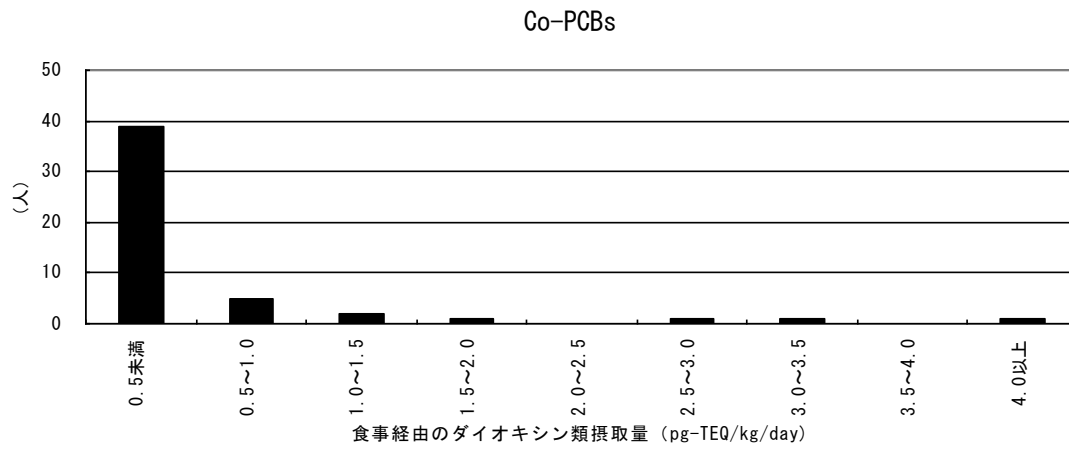
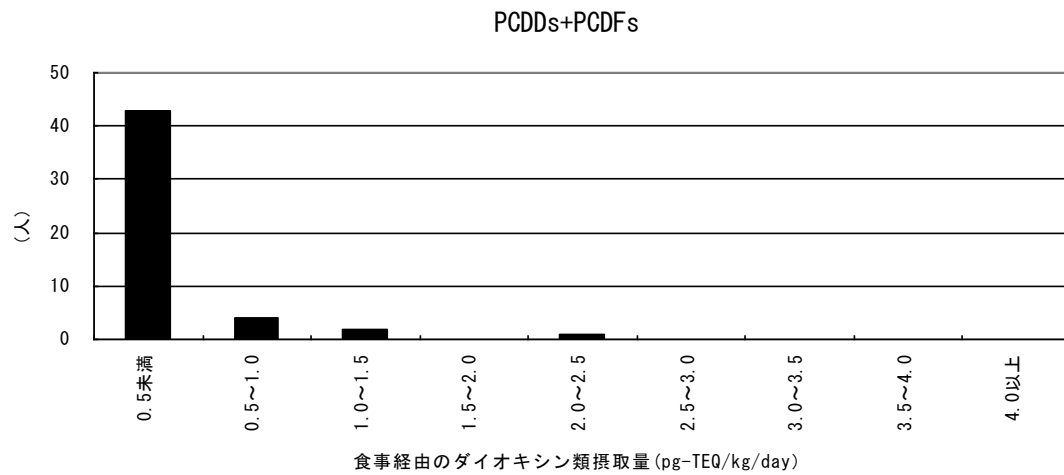


図 3.2.1 食事経由のダイオキシン類摂取量ヒストグラム (全対象者)

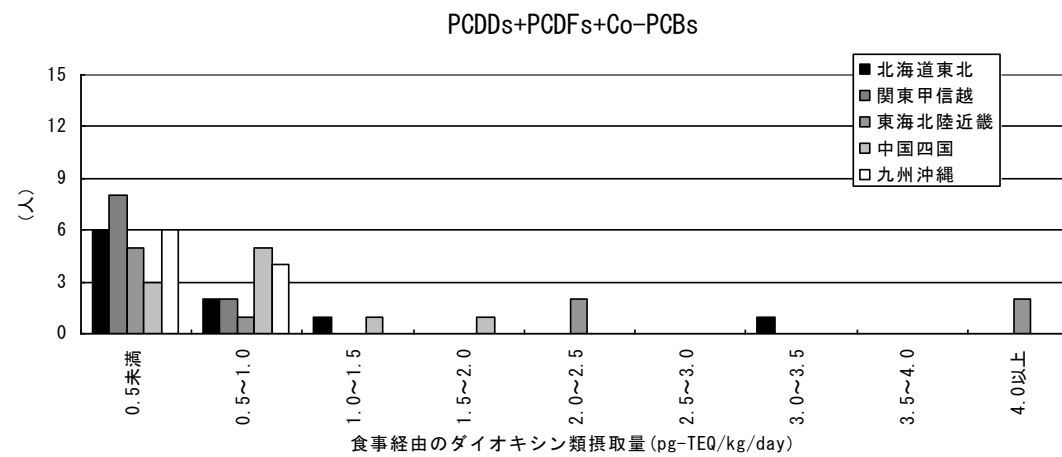
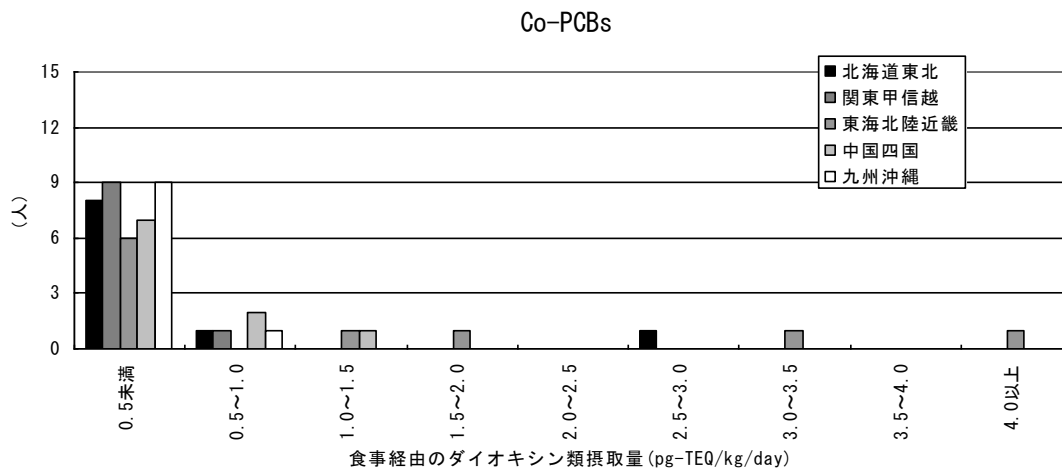
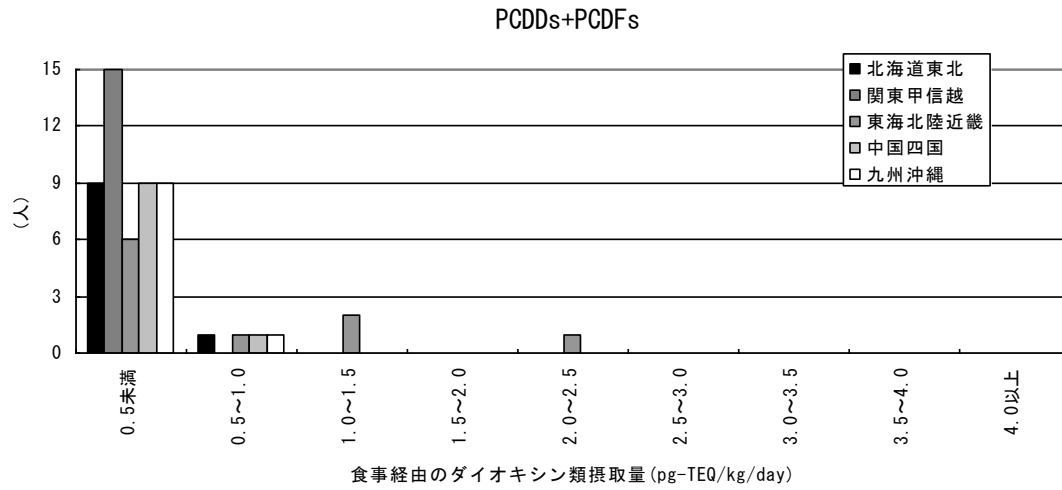


図 3.2.2 食事経由のダイオキシン類摂取量ヒストグラム (地域別)

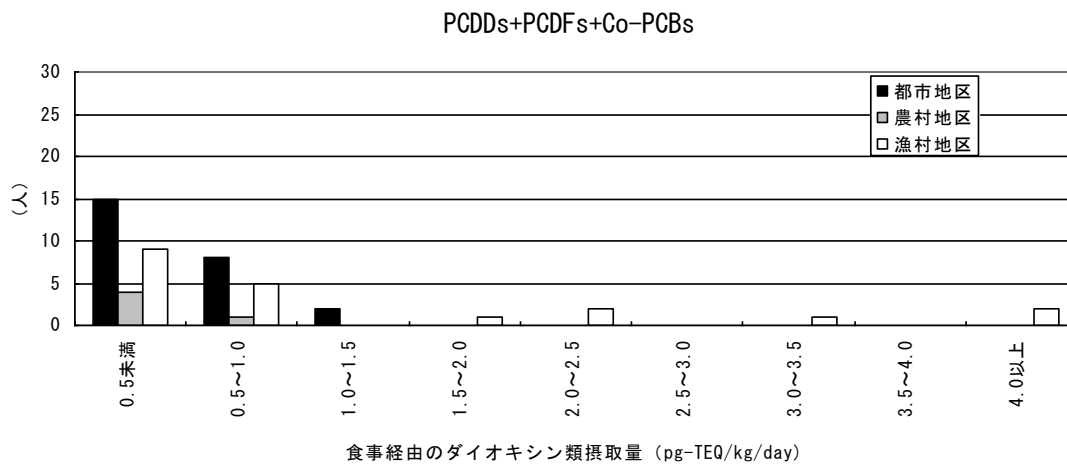
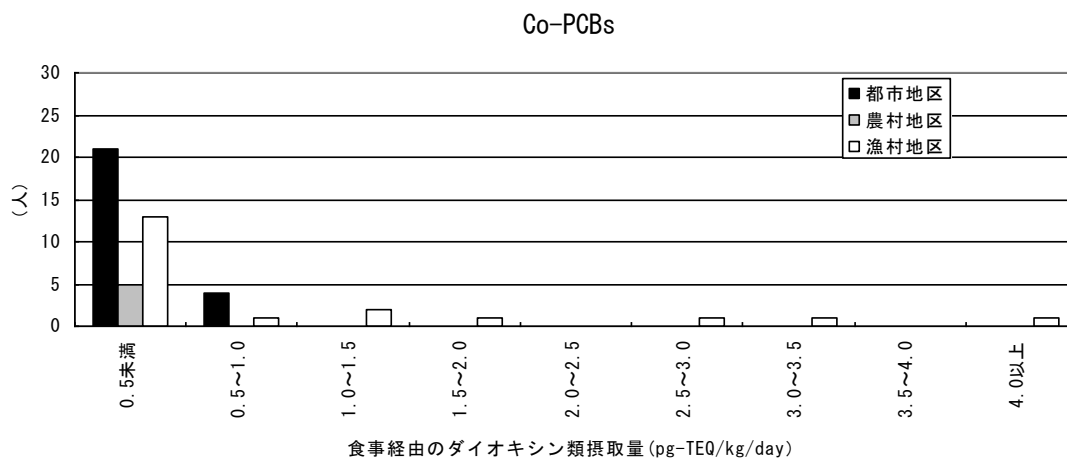
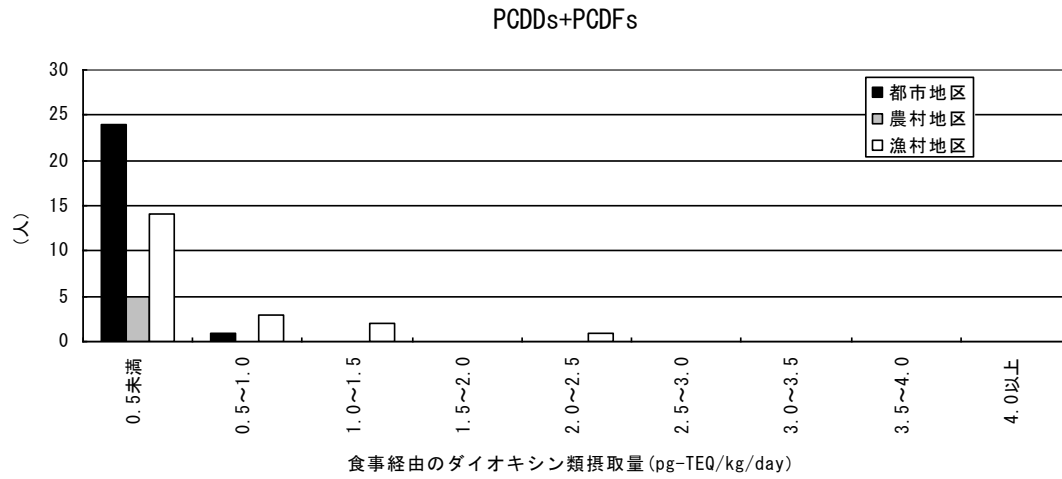


図 3.2.3 食事経由のダイオキシン類摂取量ヒストグラム (地区別)



### 3.2.3 既存調査との比較

環境省で行われた一般環境の住民に対する食事中ダイオキシン類の調査結果と本調査結果の比較を表 3.2.5、図 3.2.4に示す。

表 3.2.5 既存調査の食事経由のダイオキシン類摂取量レベル

調査年	H14 年度	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
対象者数	75	75	75	75	75	75	75	50
PCDDs+PCDFs								
平均値	0.41	0.58	0.38	0.43	0.24	0.30	0.25	0.30
標準偏差	0.28	0.43	0.23	0.52	0.15	0.32	0.31	0.37
中央値	0.36	0.47	0.32	0.27	0.20	0.20	0.17	0.20
範囲	0.024-1.5	0.050-2.5	0.048-1.1	0.059-3.8	0.041-0.76	0.029-2.0	0.021-2.2	0.038~2.2
Co-PCBs								
平均値	0.70	0.56	0.50	0.47	0.33	0.45	0.43	0.48
標準偏差	0.86	0.56	0.47	0.50	0.30	0.59	0.49	0.81
中央値	0.40	0.38	0.36	0.29	0.22	0.25	0.24	0.21
範囲	0.033-4.1	0.047-3.2	0.047-2.8	0.039-2.8	0.042-1.4	0.027-4.2	0.027-2.6	0.017~4.0
PCDDs+PCDFs Co-PCBs								
平均値	1.1	1.1	0.89	0.89	0.57	0.75	0.68	0.79
標準偏差	1.1	0.92	0.66	0.89	0.44	0.90	0.75	1.2
中央値	0.75	0.91	0.68	0.59	0.41	0.46	0.39	0.43
範囲	0.058-5.6	0.14-5.6	0.16-3.7	0.13-5.2	0.099-2.2	0.060-6.2	0.054-4.8	0.055~6.2

注1：本表のダイオキシン類濃度は、実測濃度が「定量下限値未満 (N.D.)」であった場合、異性体の実測濃度を0として計算された値である。

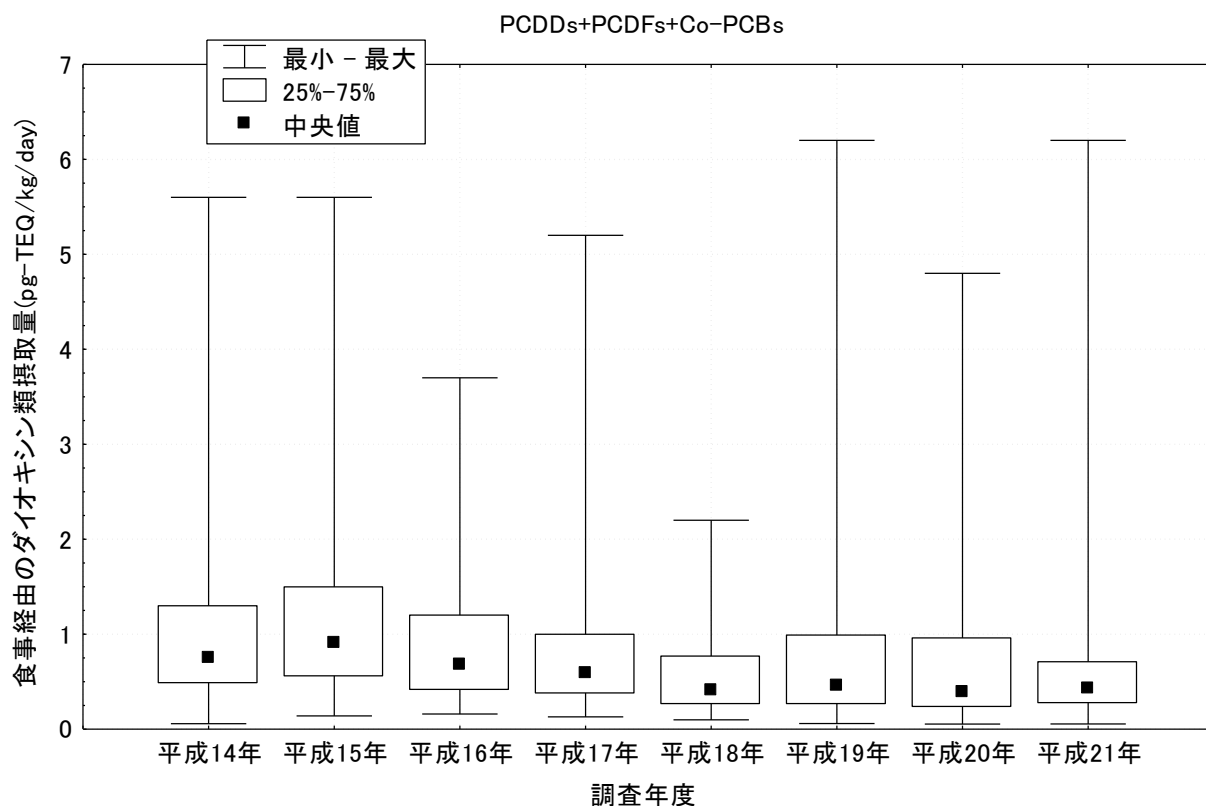


図 3.2.4 食事経由のダイオキシン類摂取量の経年変化

### 3.2.4 地域・地区間の比較

食事経由のダイオキシン類摂取量の各地域・地区の差を検定した結果を示す。  
地区間の PCDDs+PCDFs でのみ有意な差が認められた。

表 3.2.6 地域間の差の検定

単位：pg-TEQ/kg 体重/日

	北海道東北 (n=10)	関東甲信越 (n=10)	東海北陸近畿 (n=10)	中国四国 (n=10)	九州沖縄 (n=10)	検定 結果
PCDDs+PCDFs	0.22 (0.038~0.57)	0.15 (0.055~0.28)	0.29 (0.061~2.2)	0.25 (0.13~0.52)	0.20 (0.057~0.55)	
Co-PCBs	0.19 (0.017~2.7)	0.17 (0.052~0.50)	0.20 (0.039~4.0)	0.37 (0.13~1.1)	0.21 (0.038~0.68)	
PCDDs+PCDFs+ Co-PCBs	0.43 (0.055~3.3)	0.36 (0.11~0.78)	0.49 (0.10~6.2)	0.60 (0.28~1.6)	0.40 (0.095~0.97)	

表中の上段は中央値、下段は最小値～最大値

検定：クラスカル・ワーリス検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

表 3.2.7 地区間の差の検定

単位：pg-TEQ/kg 体重/日

	都市地区 (n=25)	農村地区 (n=5)	漁村地区 (n=20)	検定 結果
PCDDs+PCDFs	0.20 (0.038~0.55)	0.13 (0.055~0.15)	0.24 (0.057~2.2)	*
Co-PCBs	0.21 (0.017~0.75)	0.12 (0.052~0.36)	0.30 (0.038~4.0)	
PCDDs+PCDFs+ Co-PCBs	0.42 (0.055~1.2)	0.27 (0.11~0.50)	0.55 (0.095~6.2)	

表中の上段は中央値、下段は最小値～最大値

検定：クラスカル・ワーリス検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

### 3.2.5 食品群別摂取量

食生活記録表をもとに算出した各地域・各地区ごとの食品群別の摂取重量と重量構成比を表 3.2.8、表 3.2.9に示す。

食品群別摂取重量と食事経由のダイオキシン類摂取量との相関を表 3.2.10に示す。

表 3.2.8 食生活記録表による食品群別摂取量・構成比（地域別）

	北海道東北 (n=10)		関東甲信越 (n=10)		東海北陸近畿 (n=10)		中国四国 (n=10)		九州沖縄 (n=10)	
	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)
第1群（米・米加工品）	251.7	14.4%	322.8	16.0%	465.7	20.3%	334.2	18.1%	372.5	17.8%
第2群（雑穀・芋）	133.3	7.6%	147.5	7.3%	146.1	6.4%	133.4	7.2%	124.9	6.0%
第3群（砂糖・菓子）	29.5	1.7%	33.1	1.6%	40.1	1.7%	46.9	2.5%	30.8	1.5%
第4群（油脂）	11.8	0.7%	20.0	1.0%	16.7	0.7%	16.0	0.9%	17.3	0.8%
第5群（豆・豆加工品）	54.5	3.1%	51.0	2.5%	73.3	3.2%	47.6	2.6%	53.9	2.6%
第6群（果実）	123.2	7.0%	117.9	5.9%	122.8	5.3%	174.5	9.5%	108.1	5.2%
第7群（緑黄色野菜）	76.9	4.4%	113.8	5.7%	113.8	5.0%	57.9	3.1%	69.8	3.3%
第8群（野菜・海藻）	171.7	9.8%	202.4	10.1%	187.3	8.2%	122.9	6.7%	161.8	7.7%
第9群（調味・嗜好品）	643.8	36.7%	698.4	34.7%	825.0	35.9%	713.1	38.7%	911.1	43.5%
第10群（魚介）	69.8	4.0%	55.1	2.7%	55.1	2.4%	47.4	2.6%	41.1	2.0%
第11群（肉・卵）	71.8	4.1%	62.9	3.1%	114.0	5.0%	82.3	4.5%	110.6	5.3%
第12群（乳・乳製品）	115.3	6.6%	187.8	9.3%	136.7	6.0%	67.4	3.7%	91.3	4.4%
合計（総摂取量）	1753.3	100.0%	2012.6	100.0%	2296.7	100.0%	1843.6	100.0%	2093.0	100.0%

表 3.2.9 食生活記録表による食品群別摂取量・構成比（地区別）

	都市地区 (n=25)		農村地区 (n=5)		漁村地区 (n=20)		全体 (n=50)	
	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)	重量 (g/日)	構成比 (%)
第1群（米・米加工品）	347.1	17.5%	338.4	15.4%	355.0	18.0%	349.4	17.5%
第2群（雑穀・芋）	132.5	6.7%	160.2	7.3%	137.0	6.9%	137.1	6.9%
第3群（砂糖・菓子）	27.8	1.4%	42.7	1.9%	44.7	2.3%	36.1	1.8%
第4群（油脂）	17.7	0.9%	23.0	1.0%	12.9	0.7%	16.3	0.8%
第5群（豆・豆加工品）	47.2	2.4%	54.9	2.5%	67.4	3.4%	56.1	2.8%
第6群（果実）	114.8	5.8%	115.6	5.3%	150.8	7.6%	129.3	6.5%
第7群（緑黄色野菜）	85.6	4.3%	114.8	5.2%	80.4	4.1%	86.4	4.3%
第8群（野菜・海藻）	163.0	8.2%	224.9	10.3%	163.0	8.3%	169.2	8.5%
第9群（調味・嗜好品）	751.1	37.9%	908.6	41.4%	729.7	37.0%	758.3	37.9%
第10群（魚介）	46.5	2.3%	54.3	2.5%	62.6	3.2%	53.7	2.7%
第11群（肉・卵）	98.4	5.0%	55.1	2.5%	84.0	4.3%	88.3	4.4%
第12群（乳・乳製品）	149.4	7.5%	101.0	4.6%	87.2	4.4%	119.7	6.0%
合計（総摂取量）	1981.2	100.0%	2193.5	100.0%	1974.7	100.0%	1999.8	100.0%

注 検定：一元配置分散分析

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄有意差なし

表 3.2.10 食事によるダイオキシン類摂取量と食品群別摂取量との関係

相 関	データ数	相関係数	相関検定
PCDFs+PCDFs × 第1群 (米・米加工品)	50	-0.01	
PCDFs+PCDFs × 第2群 (雑穀・芋)	50	0.14	
PCDFs+PCDFs × 第3群 (砂糖・菓子)	50	0.11	
PCDFs+PCDFs × 第4群 (油脂類)	50	-0.16	
PCDFs+PCDFs × 第5群 (豆・豆加工品)	50	0.10	
PCDFs+PCDFs × 第6群 (果実)	50	0.09	
PCDFs+PCDFs × 第7群 (緑黄色野菜)	50	0.12	
PCDFs+PCDFs × 第8群 (野菜・海藻)	50	0.07	
PCDFs+PCDFs × 第9群 (調味・嗜好品)	50	-0.15	
PCDFs+PCDFs × 第10群 (魚介類)	50	0.40	**
PCDFs+PCDFs × 第11群 (肉・卵類)	50	-0.18	
PCDFs+PCDFs × 第12群 (乳・乳製品)	50	-0.02	
Co-PCBs × 第1群 (米・米加工品)	50	-0.02	
Co-PCBs × 第2群 (雑穀・芋)	50	0.11	
Co-PCBs × 第3群 (砂糖・菓子)	50	0.05	
Co-PCBs × 第4群 (油脂類)	50	-0.25	
Co-PCBs × 第5群 (豆・豆加工品)	50	0.01	
Co-PCBs × 第6群 (果実)	50	0.10	
Co-PCBs × 第7群 (緑黄色野菜)	50	-0.03	
Co-PCBs × 第8群 (野菜・海藻)	50	0.00	
Co-PCBs × 第9群 (調味・嗜好品)	50	-0.21	
Co-PCBs × 第10群 (魚介類)	50	0.46	**
Co-PCBs × 第11群 (肉・卵類)	50	-0.27	
Co-PCBs × 第12群 (乳・乳製品)	50	-0.09	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第1群 (米・米加工品)	50	-0.02	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第2群 (雑穀・芋)	50	0.12	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第3群 (砂糖・菓子)	50	0.08	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第4群 (油脂類)	50	-0.23	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第5群 (豆・豆加工品)	50	0.04	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第6群 (果実)	50	0.10	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第7群 (緑黄色野菜)	50	0.01	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第8群 (野菜・海藻)	50	0.02	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第9群 (調味・嗜好品)	50	-0.20	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第10群 (魚介類)	50	0.45	**
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第11群 (肉・卵類)	50	-0.25	
PCDDs+PCDFs+Co-PCBs × 第12群 (乳・乳製品)	50	-0.07	

検定：ピアソンの無相関の検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄相関なし

### 3.3 ダイオキシン類の蓄積量と食事調査結果との関係

#### 3.3.1 血液濃度と食事摂取量の相関

血液中ダイオキシン類濃度と食事によるダイオキシン類摂取量の関係を表 3.3.1及び図 3.3.1に示す。

実測値、年齢調整値とも食事によるダイオキシン類摂取量との関係は認めらなかった。

表 3.3.1 血液中ダイオキシン類濃度と食事経由のダイオキシン摂取量の関係

血液中ダイオキシン類濃度	相関	相関検定
年齢調整前の実測値	血液中濃度×食事経由ダイオキシン摂取量 (PCDDs+PCDFs)	
	血液中濃度×食事経由ダイオキシン摂取量 (Co-PCBs)	
	血液中濃度×食事経由ダイオキシン摂取量 (PCDDs+PCDFs+Co-PCBs)	
年齢調整値	血液中濃度×食事経由ダイオキシン摂取量 (PCDDs+PCDFs)	
	血液中濃度×食事経由ダイオキシン摂取量 (Co-PCBs)	
	血液中濃度×食事経由ダイオキシン摂取量 (PCDDs+PCDFs+Co-PCBs)	

検定：ピアソンの無相関の検定

検定結果：\*\*1%有意、\*5%有意、空欄相関なし

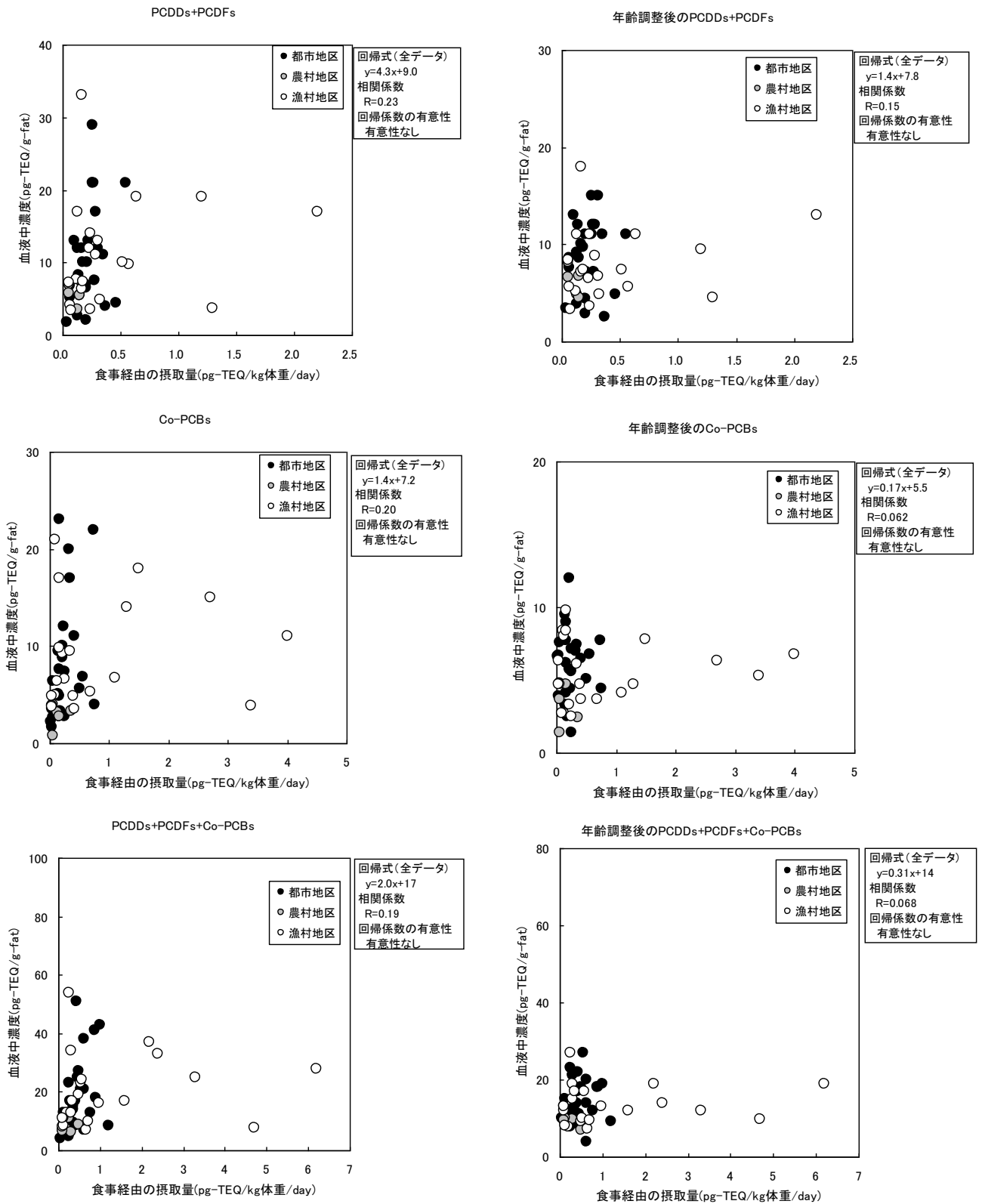


図 3.3.1 血液中ダイオキシン類濃度と食事経由のダイオキシン摂取量の関係